

## 研究主事より

石川工業高等専門学校技術振興交流会会員企業の皆様には、本校の教育研究活動に関しまして日頃から多大な御支援をいただき感謝を申し上げます。特に、専攻科長期インターンシップ、中小企業人材育成事業

などに関しましては、その実施にあたって企業の多大な御支援・御協力をいただいております。

現在、技術振興交流会会員企業数は100社を上まわりました。これも偏に会員企業各位の本校の教育研究活動への御理解の賜物と改めて御礼を申し上げます。

さて、昨年度は本校としては初めての試みとして「高専教員と企業人事担当者との懇談会」あるいは「技術紹介の会」を開催させていただきました。本校における人材育成のあり方について貴重な御意見を賜り、今後の技術者教育に大いに参考になるとともに、高専生の地域企業への関心・意識の向上に寄与したと考えております。今後機会を捉えてこのような場を設けたいと思っております。

なお、今年度のトライアル研究センターの新規事業として、企業の新たなニーズおよび本校のシーズ掘り起こし、企業と本校教員の研究面での交流の一層の活発化を目的として、各学科ごとに研究会を立ち上げる予定です。この研究会における活動が発展し、企業と本校との共同研究等技術交流の発展に寄与すればと考えております。

最後に今後とも本校の教育研究活動に変わらぬ御支援・御理解を賜りますようお願いいたします。(畑 時男)

## センター長より

下記のトピックスにありますように、経済産業省の支援事業である人材育成事業を今年度も実施します。この事業は、「自己が考えて目標を設定し問題解決ができるグループリーダーを養成する」が事業目標となっています。講義内容

は代表的な技術問題に絞っているため、実際の企業現場で抱える個々の課題解決に直接結びつかないかも知れません。具体的な個々の問題については、本校の技術相談(窓口は企画室)を御利用ください。

企業訪問で人材育成に関する御相談を受ける内容は、①良い人材の採用が難しい②従業員教育を実施しているが期待した効果がない③従業員の仕事への意識が低下している④一人前に育てても退職していく などです。

上記の内容は語句を少し変えれば本校での教育問題と類似点が沢山あります。解決策は何でしょうか。上記の問題点はお互いに関係しており、もっと大きな根本的な原因を見逃していないでしょうか。個々の問題が出るたびに解決策を探して「対応策や規則」での対症療法で乗り切り、潜在化して見えなくなっている問題点の洗い出しを怠っていないでしょうか。問題解決の処方箋として、次の4点を見極めるのが重要となっています。

A.目的の明確化、B.誰にとつての問題か?、C.問題の優先順位は?、D.問題の影響する範囲は?

これらの4点から本来の原因を見出して有効な解決策の手順を考えていくのが、山積する問題点を処理する手法の一つのようです。

産業界と連携した「産学協同ものづくり技術者教育」は、少子化が進む地域の人材育成にとってますます重要となってきています。これからも御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。(割澤 泰)

## トピックス

### 内灘町との連携協力協定について

本校は、同じ河北郡に位置する隣町の内灘町と協定を締結しました。今回の協定は、教育研究を始め環境やまちづくり等の諸分野で互いに連携協力し、広く地域社会の発展に資することが目的です。5月20日に内灘町役場で調印式を行い、八十出内灘町長と金岡校長が協定書に署名・押印しました。

そして5月24日には、初の合同企画「環境教育プロジェクト」として、内灘町役場前庭で「河北潟の水質浄化実験用の池づくり」を実施しました。イベントには内灘町の小中学生や水質ボランティアのほか、本校専攻科1年生らが「河北潟美しい隊」として参加し、池の汚泥や落ち葉などを取り除くとともに、汚れた玉砂利をきれいに洗いました。清掃後の池には河北潟から運び込んだ水を張って潟に似せた環境としました。また、ソーラーパネルと気泡発生器を設置して水中に空気を送り込みながら、微生物の活動が汚れの分解を促すような仕組みとして水質浄化の試験を始めました。2週間後には、COD(化学的酸素要求量)が18ppmから3ppmになったのを確認しています。

今後は、河北潟周辺の環境改善に関する取り組みのほか、風力発電施設を使った雷エネルギー研究や、町が行う環境学習に本校教員を派遣する等、相互に協力しながら各種の事業を実施していきます。

◎ 20年度人材育成事業について

一昨年から実施しています「高等専門学校等を活用した中小企業人材育成事業」の一環として、今年度は下記の2つの研修講座を開催いたします。

1) 『機械設計のエッセンス』(開講期間予定:7/12~8/23)

目的:目からウロコの機械設計の基礎事項を伝授。主管等:今年度から自立化して本校が主催。定員:10名

2) 『石川県ニッチトップ企業人材育成事業』(開講期間予定:8/27~9/24)

目的:電子部品・電気機器の設計に携わる若手技術者を対象に、課題を自主的に解決するグループリーダーを育成する。

主管等:経済産業省の補助を得て、石川県産業創出支援機構を主管団体として実施。定員:15名。

会員企業の若手技術者の受講者派遣をお願い申し上げます。

いずれの講座も本校企画室(TEL.076-288-8080,FAX.076-288-8081)にお問い合わせください。



## 技術振興交流会事業の開催状況

実施日	事業名
1月8日(火)	石川高専と企業人事担当者との懇談会
1月16日(水)	技術振興交流会会員企業等による技術紹介の会
6月20日(金)	技術振興交流会役員会

## 各種フェアへの出展状況

実施日	イベント名	本校からの出展テーマと担当者
2月26日(火)	北陸地域クラスターフォーラム2008	FPGAを用いたリアルタイム画像処理の開発(電気 森田)
5月22日(木) ~24日(土)	MEX金沢2008	FPGAを用いたリアルタイム画像処理の開発(電気 森田)

## 今後の行事予定

- 8月 ●公開講座「二級建築士設計製図試験対策セミナー」(受講生募集中)  
●第6回全国高専テクノフォーラム ●技術振興交流会総会 ●第18回産学官交流懇談会
- 9月 ●公開講座「3次元CADとモデル品の試作」(受講生募集中)
- 10月 ●しんきんビジネスフェア ●北陸技術交流テクノフェア
- 11月 ●FITネット商談会

## ご案内

技術振興交流会総会及び第18回産学官交流懇談会が8月28日(木)に金沢商工会議所会館で開催されます。会員の皆さまにはご出席賜りますようよろしくお願いいたします。なお、詳細は後日改めて連絡を差し上げます。

## 研究者情報

本校における最新の研究関連情報を掲載致します。  
本校との共同研究や技術相談の御検討の際に参考になれば幸いです。

### ■平成20年度科学研究費補助金に本校から21件が採択されました。(表は平成20年度新規採択分)

研究代表者	課題名
高島 要(一般教育)	近世日本漢詩総集「日本詩選」についての総合的研究
岩竹 淳(一般教育)	プライオメトリックスにより思春期後期の疾走能力を改善する実験型体育授業の展開
和田匡司(環境)	固定発生源からの微小粒子(PM2.5)排出挙動測定用エアロゾル分級装置の開発
飯田忠夫(技術グループ)	1-CD-Linuxによるパソコン管理システムの開発

### ■新任教員の紹介

一般教育科	准教授	佐野陽之	研究課題「非線形光学応答を用いた表面電子状態分析」
一般教育科	助教	古崎広志	研究課題「対称性を持つ宇宙ひもの運動の可積分性に関する研究」
電気工学科	助教	岡本征晃	研究課題「磁場閉じ込め装置におけるプラズマ消滅過程に関する研究」
電子情報工学科	助教	田嶋拓也	研究課題「経営情報におけるセンサの応用」

### 各種のお問い合わせや技術相談

石川工業高等専門学校トライアル研究センター(技術振興交流会事務局)  
〒929-0392 石川県河北郡津幡町字北中条  
TEL 076-288-8080 FAX 076-288-8081  
Email:itctrial@ishikawa-nct.ac.jp http://www.ishikawa-nct.ac.jp/tech/

### 編集後記

今年度の科研費採択件数は21件となり、研究活動が活発化してきております。この結果をバネに、センターを中心とした地域との連携強化を図って参ります。会員企業の皆様からの御協力のほどをよろしくお願いいたします。